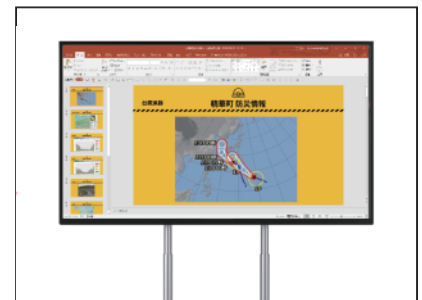




Web



Webcliple



平成30年は西日本豪雨や台風21号、北海道胆振東部地震など多くの災害が発生し、住民の多くは不安をかかえている。

そのため災害時はできるだけ多くの情報をリアルタイムに発信していく準備が必要だが、都道府県と市町村の防災ネットワークも相互接続されていない状況で、各省庁も含めた情報の収集は手作業にならざるを得ず、時間のロスが心配される。

被災した住民は行政が提供する情報だけでなく、電力会社や鉄道会社などの社会インフラを担う民間企業などが提供する情報も必要となるが、現状ではそれぞれのサイトやSNSからの情報を各自が収集する必要があり、利便性の向上が求められている。

Webcliple(ウェブクリップル)を使って、気象庁などのサイトから必要な部分だけを自動でスクリーンショットを撮り、画像をインターネット上のサーバにアップロードする。(Webの画像化)

その動作を一定間隔(最短1分)で繰り返し、新しい画像は同じファイル名で上書きする。この動作で合計10のサイトから、災害時に必要となる情報を画像として自動収集し、その画像のリンクタグをhtmlに埋め込んでWebに表示させる。



